
一般社団法人
全国専門学校情報教育協会

第2回定時総会資料

平成24年6月20日 於：東京／アルカディア市ヶ谷

第1号議案

平成23年度事業報告および収支決算の承認を求める件

- ◆報告事項◆
- ・平成24年度事業計画
 - ・平成24年度収支予算

目 次

第1号議案 平成23年度事業報告および収支決算の承認を求める件.....	2
<平成23年度事業報告>.....	2
1. 総会	2
2. 理事会（常任理事会含む）	2
3. 委員会	2
(1) 財務委員会	2
(2) 調査委員会	2
(3) 研修委員会	3
(4) イベント委員会.....	4
(5) 総務企画委員会.....	8
4. その他の事業	8
<平成23年度 収支決算報告>.....	9

◆報告事項◆

<平成24年度 事業計画>.....	15
(1) 総務・財務委員会.....	15
(2) 調査委員会	15
(3) 研修委員会	15
(4) イベント委員会.....	16
(5) 企画委員会	16
<平成23年度 収支予算>.....	17

第1号議案 平成23年度事業報告および収支決算の承認を求める件

<平成23年度事業報告>

1. 総会

平成23年度第1回定時総会は6月22日に中野サンプラザにて開催され、以下の事項について審議検討を行った。

第1号議案 平成22年度事業報告

第2号議案 平成22年度収支決算報告

第3号議案 平成23年度事業計画案

第4号議案 平成23年度収支予算案

2. 理事会（常任理事会含む）

平成23年度は、理事会4回、常任理事会4回を開催し、本会の運営方針の決定や予算の執行管理について審議した。本年度は協会としての目的の再確認や新規イベントとしてゲームコンペの開催などを決定した。

3. 委員会

(1) 財務委員会

平成23年度は委員会を4回開催し、下記規定について検討し、理事会に提案した。承認を得、制定された。

1. 会員規程（第3回理事会決定。施行日は平成23年12月16日） *資料1
2. 定款施行細則（第4回理事会決定。施行日は平成24年2月21日） *資料2
3. 委員会規程（第4回理事会決定。施行日は平成24年2月21日） *資料3

また、本会の予算編成並びに決算、財務管理などについて検討を行った。

(2) 調査委員会

平成22～25年度は、効果的な調査が進行できるよう、調査委員全員が議論するにたる素地を作るため、委員会の目的である「情報系専修学校が育成すべきIT人材（情報処理技術者）像の抽出」、「IT人材の根源的なスキルを抽出し、これを醸成するに最適なカリキュラムの骨格を探る」ための情報収集を主たる活動とした。

■第1回ヒアリング

テーマ：・情報処理産業の求人ニーズ変化

- ・IT人材育成プログラムが追い求める基盤的能力とその醸成方法

時 期：平成23年10月5日

対 象：小川 健司氏（独立行政法人情報処理推進機構 IT人材育成本部本部長補佐）

■第2回ヒアリング

テーマ：・IT業界の動向

クラウド運用系の動向について（三木氏）

ソフトウェア開発系の動向について（西村氏）

時 期：平成23年12月7日

対 象：三木 泉氏（アイティメディア(株)ITインダストリー事業部 IT統括部 IT担当編集長）

西村 賢氏（アイティメディア(株)ITインダストリー事業部 IT統括部 IT担当編集長）

■第3回ヒアリング

テーマ：・オープンソースムーブメントと教育

時 期：平成24年2月10日

対 象：成井 弦氏（LPI—Japan 理事長）

（3）研修委員会

研修委員会は、会員校の教育内容の充実、募集・広報活動の活性化等を図るための各種研修の立案と運営について東京で3回の委員会を開催し検討した。今年度は、東日本大震災の影響で、例年夏に行っていた研修会が開催されず、年明け開催となり研修会開催は1回のみとなった。

■研修会開催

就職担当者セミナー

日 時：平成24年1月23日

会 場：日本電子専門学校

講 師：山田 守氏（学校法人穴吹学園）

生山 浩氏（学校法人電子学園）

参加者：8名

■専修学校フォーラム

本会会員および専修学校関係者を対象として、情報教育にかかわる各種情報の提供、教育事例や研究成果の公開、文部科学省のプロジェクトの発表の場として専修学校フォーラムを開催した。*スケジュール資料4

日 程：平成24年2月22日

会 場：中野サンプラザ

参加者：105名

後 援：経済産業省

協 力：財団法人専修学校教育振興会、全国専修学校各種学校総連合会
 全国学校法人立専門学校協会

(4) イベント委員会

「第20回全国専門学校ロボット競技会」、「第8回ビジネスプロデュースコンペティション」「全国専門学校ゲームコンペティション2012」の企画・運営を行った。

■第20回全国専門学校ロボット競技会

日 程：平成23年12月22日（木）、23日（金・祝）

会 場：大田区産業プラザ PiO 1階大展示ホール

主 催：全国専門学校情報教育協会／財団法人専修学校教育振興会

後 援：文部科学省／経済産業省

日本経済新聞社／テレビ東京／読売新聞東京本社

協 力：専門学校新聞社

競 技：・自律型ロボット対戦競技（ソフトウェア部門）

・自律型ロボット対戦競技（ハードウェア部門）

・有線型ロボット対戦競技

・二足歩行ロボット競技

■参加校・参加部門・参加チーム数一覧（13校65チーム）

No	学校名	ハード	ソフト	有線	2足	計
1	日本電子専門学校				3	3
2	日本工学院八王子専門学校	2	4	2	2	10
3	名古屋工学院専門学校	2	2	2	2	8
4	大阪工業技術専門学校			2	1	3
5	浜松情報専門学校	5	2	3	1	11
6	専門学校越生自動車大学校	2	2			4
7	麻生情報ビジネス専門学校		1		1	2
8	情報科学専門学校新横浜校		2			2
9	横浜システム工学院専門学校		4		2	6
10	富山情報ビジネス専門学校		1			1
11	中日本航空専門学校	3	2	2	2	9
12	原田学園ハイテク専門学校	3		1		4
13	東京電子専門学校			1	1	2
		17	20	13	15	65

■協賛企業（五十音順） 8社

広告社株式会社	株式会社タレントデータバンク
株式会社JSコーポレーション	株式会社ブレインズ・ネットワーク
株式会社昭栄広報	株式会社ライセンスアカデミー
株式会社専門学校新聞社	株式会社ワークスコーポレーション

■協賛専門学校（五十音順） 7校

学校法人吉田学園	日本工学院八王子専門学校
情報科学専門学校	日本電子専門学校
東京電子専門学校	浜松情報専門学校
名古屋工学院専門学校	

■第20回全国専門学校ロボット競技会 結果一覧

順位	学校名	ロボット名	ロボット名ふりがな
自律型ロボット対戦競技 ソフトウェア部門			
優勝	横浜システム工学院専門学校	YSE_HEXA	ワイエスイー__ヘキサ
準優勝	横浜システム工学院専門学校	YSE_TETRA	ワイエスイー__テトラ
第3位	横浜システム工学院専門学校	YSE_PENTA	ワイエスイー__ペンタ
第3位	専門学校越生自動車大学校	OAC1	オーエーシーワン
自律型ロボット対戦競技 ハードウェア部門			
優勝	日本工学院八王子専門学校	トンちゃん	とんちゃん
準優勝	原田学園ハイテク専門学校	ハイテクン	ハイテクン
第3位	原田学園ハイテク専門学校	サクランド号	サクランドごう
第3位	中日本航空専門学校	エスペランザ	エスペランザ
有線型ロボット対戦競技			
優勝	名古屋工学院専門学校	イヴェール	イヴェール
準優勝	浜松情報専門学校	げんこつハンバーグ	げんこつハンバーグ
第3位	大阪工業技術専門学校	OCTエンジン	オーシーティーエンジン
第3位	日本工学院八王子専門学校	G-SAW	ジーソウ
二足歩行ロボット競技			
優勝	日本工学院八王子専門学校	ザクロイド	ザクロイド
準優勝	中日本航空専門学校	UMA	ユーマ
第3位	横浜システム工学院専門学校	YSE_UNO	ワイエスイー__ウーノ
第3位	日本工学院八王子専門学校	猫妖精	ケットシー
優 秀 賞			
優秀 ソフトウェア賞	富山情報ビジネス専門学校	小杉とレーシングカー	こすぎとレーシングカー
優秀 ハードウェア賞	浜松情報専門学校	HEVOLTA2世	ヘボルタにせい
優秀 メカニック賞	中日本航空専門学校	C&R弐型	シーアンドアールにがた
優秀 ヒューマノイド賞	名古屋工学院専門学校	APPARATUS	アパルトウス
ロボコム賞	中日本航空専門学校	参号	さんごう
団体優勝	横浜システム工学院専門学校		

■第8回ビジネスプロデュースコンペティション

- ・ビジネスプラン募集期間 : 平成23年11月10日～平成23年12月10日
- ・一次審査(書類選考) : 平成23年12月15日(木)
- ・二次審査(BPC大会) : 平成24年1月20日(金)
 - ※一次審査を通過したビジネスプランのプレゼンテーション
 - 会場 日本電子専門学校 B1 メディアホール
- ・応募実績 : 12校 31プラン(昨年度実績 15校 41プラン)
- ・一次審査通過 : 9校 10プラン(昨年度実績 9校 10プラン)
- ・後援 : 経済産業省(後援名義使用許可、経済産業政策局長賞交付)

■参加校(12校)

NO	学校名	応募数
1	沼津情報・ビジネス専門学校	3
2	新潟高度情報専門学校	1
3	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校	2
4	日本工学院八王子専門学校	2
5	総合電子専門学校	1
6	名古屋工学院専門学校	5
7	中国デザイン専門学校	3
8	専門学校松江総合ビジネスカレッジ	2
9	日本電子専門学校	4
10	東北電子専門学校	6
11	新潟ビジネス専門学校	1
12	情報科学専門学校	1
	合計	31

■第8回ビジネスプロデュースコンペティション 結果一覧

順位	学校名	ビジネスプラン名
グランプリ 経済産業政策局長賞	大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校	復興支援電子商店街 SNS サイト「KEPPARE」
準グランプリ	大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校	ネットとリアルをつなぐ、ストリーミング配信事業 『ストちまち TOKYO』
マーケティング賞	東北電子専門学校	主婦が気軽に相談できる「赤ちゃんショップカフェ」
プレゼン賞	日本工学院八王子 専門学校	勝手にコーディネート☆ ～Webを使ったファッションコーディネートプラン の提案～
審査員奨励賞	中国デザイン専門学校	「SNS×ネットショッピング」

■全国専門学校ゲームコンペティション 2012

- ・ゲームプラン募集期間 : 平成23年12月1日～平成24年1月16日
- ・一次審査(書類選考) : 平成24年1月24日(火)
- ・本選 : 平成24年2月20日(月)
- 会場 日本電子専門学校 B1 メディアホール
- ・応募実績 : 9校 146プラン
- ・一次審査通過 : 8校 11プラン

*今回の大会はプレ大会として開催し、本大会は平成24年度から実施する。

■参加校(9校)

NO	学校名	応募数
1	早稲田文理専門学校	4
2	横浜システム工学院専門学校	1
3	トライデントコンピュータ専門学校	24
4	吉田学園情報ビジネス専門学校	1
5	新潟コンピュータ専門学校	87
6	日本工学院専門学校	6
7	日本電子専門学校	15
8	名古屋工学院専門学校	6
9	ECCコンピュータ専門学校	2
	合計	146

■全国専門学校ゲームコンペティション 2012

順位	学校名	タイトル	ジャンル
グランプリ	トライデントコンピュータ専門学校	なないろ★ぱれっと ～色を学べるシューティング～	混色シューティング
準グランプリ	ECCコンピュータ専門学校	つれてって?	アクションアドベン チャーゲーム
審査員特別賞	横浜システム工学院専門学校	CHAT RALLY(チャットラリー)	通信ゲーム
審査員特別賞	新潟コンピュータ専門学校	Revolve	アクションパズル
審査員特別賞	日本電子専門学校	NS Reverse	マグネットスライドパズルゲーム

(5) 総務企画委員会

会員の会費負担の軽減および協会活動を活発化による経営基盤の強化を図るため、4回の会合を行い、新たな収入源となるべき新規収益事業として下記について検討した。

- ・「インターネット、スマートフォンを活用した会員紹介ポータルサイト」について
- ・行動規範検定試験について

4. その他の事業

(1) ホームページを利用した各種情報の提供

本会ホームページを利用した各種PR活動の提供は、研修会や委員会活動報告、会員校イベント情報をはじめ、賛助会員や各種教育関連団体などから寄せられた59件のトピックス（ニュース）を掲載した。

(2) インターネットメールによる各種情報の提供

本会会員校の教職員ならびに、教員研修会等参加者のうち情報配信を希望した方を対象に18件のメールニュースを発行した。掲載内容は、本会が行う研修会の募集情報などのほか、会員校、賛助会員から寄せられたイベントやキャンペーン情報等の配信を行った。

＜平成23年度 収支決算報告＞

平成23年度 収支計算書
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:円)

勘 定 科 目	23年度予算額	23年度決算額	差 異	備 考
(収入の部)				
会 費 収 入	(11,350,000)	(10,519,160)	(830,840)	
年度会費収入	9,300,000	8,620,000	680,000	
新規入会金収入	50,000	200,000	△ 150,000	
賛助会費収入	2,000,000	1,699,160	300,840	
研修会参加費等収入	(1,060,000)	(210,000)	(850,000)	
研修会参加費等収入	1,060,000	210,000	850,000	
イベント開催協力金	(5,200,000)	(5,183,000)	(17,000)	
ロボット競技会開催費収入	5,000,000	4,890,000	110,000	
ビジネスプロデュースコンペ開催費収入	200,000	293,000	△ 93,000	
雑 収 入	(100,000)	(127,589)	(△ 27,589)	
雑 収 入	100,000	127,589	△ 27,589	
当 期 収 入 合 計(A)	(17,710,000)	(16,039,749)	(1,670,251)	
前 期 繰 越 収 支 差 額	(19,095,864)	(19,095,864)	(0)	
収 入 合 計(B)	(36,805,864)	(35,135,613)	(1,670,251)	
(支出の部)				
会 議 費	(3,787,000)	(2,260,891)	(1,526,109)	
総 会 運 営 費	577,000	201,160	375,840	
役 員 会 運 営 費	1,400,000	801,143	598,857	
委 員 会 等 運 営 費	1,610,000	1,058,588	551,412	
部 会 費	200,000	200,000	0	
事 業 費	(2,450,000)	(631,574)	(1,818,426)	
研 修 会 等 事 業 費	1,600,000	236,909	1,363,091	
調 査 研 究 費	300,000	83,430	216,570	
広 報 活 動 費	250,000	206,235	43,765	
会 員 加 入 促 進 費	300,000	105,000	195,000	
イ ベ ン ト 開 催 費	(5,380,000)	(5,922,524)	(△ 542,524)	
ロ ボ ッ ト コ ン テ ス ト 開 催 費	4,900,000	5,194,210	△ 294,210	
ビ ジ ネ ス プ ロ デ ュ ー ス コ ン ペ 開 催 費	280,000	422,339	△ 142,339	
C G ・ ゲ ー ム コ ン ペ 開 催 費	200,000	305,975	△ 105,975	
事 務 委 託 費	(9,000,000)	(9,000,000)	(0)	
事 務 委 託 費	9,000,000	9,000,000	0	
雑 費	(50,000)	(35,333)	(14,667)	
雑 費	50,000	35,333	14,667	
予 備 費	(43,000)	(0)	(43,000)	
予 備 費	43,000	0	43,000	
当 期 支 出 合 計(C)	20,710,000	17,850,322	2,859,678	
当 期 収 支 差 額(A)-(C)	△ 3,000,000	△ 1,810,573	△ 1,189,427	
次 期 繰 越 収 支 差 額(B)-(C)	16,095,864	17,285,291	△ 1,189,427	

第20回 全国専門学校ロボット競技会会計報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日)

(単位:円)

収入の部

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
競技会参加費	650,000	650,000	0	
協賛金	1,550,000	1,740,000	△ 190,000	
開催協力金	2,800,000	2,500,000	300,000	
収入合計	5,000,000	4,890,000	110,000	

支出の部

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会場等設営費	1,640,000	1,575,000	65,000	
大会運営費	1,050,000	1,520,904	△ 470,904	
印刷費	225,000	221,025	3,975	
通信費	95,000	54,442	40,558	
商品費	160,000	173,839	△ 13,839	
大会記録費	20,000	0	20,000	
会議費	250,000	66,500	183,500	
人件費	300,000	322,500	△ 22,500	
事務局運営費	1,260,000	1,260,000	0	
支出合計	5,000,000	5,194,210	△ 194,210	
情報会計繰越金	0	△ 304,210	304,210	

平成23年度 貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目	23年度	22年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	17,005,291	18,995,854	△ 1,990,563
未収入金	280,000	416,000	△ 136,000
2. 固定資産	0	0	0
3. 繰延資産	0	0	0
資産の部合計	17,285,291	19,411,854	△ 2,126,563
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	315,990	△ 315,990
2. 固定負債	0	0	0
負債の部合計	0	315,990	△ 315,990
III 正味財産の部			
1. 正味財産	17,285,291	19,095,864	△ 1,810,573
正味財産合計	17,285,291	19,095,864	△ 1,810,573
負債及び正味財産合計	17,285,291	19,411,854	△ 2,126,563

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収入金、未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 期 末 残 高	当 期 期 末 残 高
現 金 預 金	18,995,854	17,005,291
未 収 入 金	416,000	280,000
合 計	19,411,854	17,285,291
未 払 金	315,990	0
合 計	315,990	0
次期繰越収支差額	19,095,864	17,285,291

平成23年度 財産目録

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	
1. 現金預金	
現金 現金手許有高	651,587
普通預金 三菱東京UFJ銀行:東中野支店(0111561)	11,353,704
定期預金 三菱東京UFJ銀行:東中野支店(0021004)	5,000,000
2. 未収入金	280,000
資 産 合 計	17,285,291
正 味 財 産	17,285,291

監 査 報 告 書

一般社団法人全国専門学校情報教育協会
理事長 吉 田 松 雄 殿

私たちは、一般社団法人全国専門学校情報教育協会の平成 23 年度（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）における収支計算書、財産目録、諸証票書類ならびに同事業年度の理事の業務状況について監査を実施した。

その結果、財務諸表等は協会の収支及び財産の状況を適正に表示しているものと認めた。

また、理事の業務執行状況も適正であると認めた。

平成 2 4 年 6 月 4 日

監 事 若 原 一 博 

監 事 菊 田 寛 

監 事 西 沢 正 樹 

◆報告事項◆

<平成24年度 事業計画>

1. 総会

平成24年度第2回定時総会を平成24年6月20日（水）16時から、東京・アルカディア市ヶ谷にて開催する。議案は以下の通り。

第1号議案 平成23年度事業報告および収支決算の承認を求める件

2. 理事会

本会の執行機関であり、業務執行の決定・監督のため3回程度開催する。

3. 常任理事会

常任理事会は、正副理事長、専務理事、委員会を担当する理事で組織し、事業の進捗等の連絡・調整を密に図るために3回程度実施する。

4. 常置委員会

(1) 総務・財務委員会

- ①総会・理事会等の諸会議の運営を行う。
- ②法人を円滑に管理・運営するために整備されていない諸規定について整備する。
- ③本会の財務状況を把握し、適切な予算立案・予算執行について検討する。
- ④その他、法人運営に必要な事項について検討する。

(2) 調査委員会

- ①IT業界およびコンテンツ業界で必要としている人材を明確にし、その中から、専門学校が教育すべき人材像を特定し会員にその情報を提供する。
- ②IT業界やコンテンツ業界のみならず、当協会の目的に合致する新しい業界の動向を調査し、会員に情報を提供する。
- ③その他、本会が必要とする調査を行う。
- ④調査経過は報告書として取りまとめるとともに専修学校フォーラムの場で、会員に報告を行う。

(3) 研修委員会

- ①IT教育に関連する教員として、一定レベルの教育の質を担保するための教員研修を設計し、実施運営する。
- ②会員の研修ニーズをもとに研修を設計し、会員に提供する。
- ③「専修学校フォーラム 2013」を開催し、今後のIT教育の方向性を示唆すると共に文部科学省委託事業の発表を提供する。

(4) イベント委員会

- ①第 21 回全国専門学校ロボット競技会を開催します。また、今後の運営の方針等について再検討する。(ロボット大会実行チーム (仮称))
- ②第 9 回ビジネスプロデュースコンペティションを開催します。また、適正な大会参加費について再検討する。(BPC 実行チーム (仮称))
- ③全国専門学校ゲームコンペティションを平成 24 年度中に開催を前提とした検討を行う。(ゲームコンペ実行チーム (仮称))
- ④会員が必要としているイベント等の調査を行い、新たなイベントの必要性等について取りまとめ理事会に答申する。

(5) 企画委員会

会員の会費負担の軽減および協会活動を活発化させるためには、経営基盤の強化を図る必要があります。そこで本会は、新たな収入源となる新規収益事業を平成 24 年度中に取りまとめて理事会に答申する。

- ① 行動規範検定試験の実施
- ② 認定・評価事業の実施 (学校認定、教員認定)
- ③ 教材販売事業
- ④ インターネット上で展開する収益事業
- ⑤ その他目的を達成するために必要な事業

<平成24年度収支予算>

平成24年度 収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:円)

勘定科目	24年度予算案	23年度予算額	増減
(収入の部)			
会費収入	(11,100,000)	(11,350,000)	(△ 250,000)
年度会費収入	9,300,000	9,300,000	0
新規入会金収入	200,000	50,000	150,000
賛助会費収入	1,600,000	2,000,000	△ 400,000
研修会参加費等収入	(420,000)	(1,060,000)	(△ 640,000)
研修会参加費等収入	420,000	1,060,000	△ 640,000
イベント開催協力金	(5,320,000)	(5,200,000)	(120,000)
ロボット競技会開催費収入	4,700,000	5,000,000	△ 300,000
ビジネスプロデュースコンパ開催費収入	420,000	200,000	220,000
CG・ゲームコンパ開催費	200,000	0	200,000
雑収入	(100,000)	(100,000)	(0)
雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	(16,940,000)	(17,710,000)	(△ 770,000)
前期繰越収支差額	(17,285,291)	(19,095,864)	(△ 1,810,573)
収入合計(B)	(34,225,291)	(36,805,864)	(△ 2,580,573)
(支出の部)			
会議費	(3,378,000)	(3,787,000)	(△ 409,000)
総会運営費	374,000	577,000	△ 203,000
役員会運営費	1,224,000	1,400,000	△ 176,000
委員会等運営費	1,580,000	1,610,000	△ 30,000
部会費	200,000	200,000	0
事業費	(1,320,000)	(2,450,000)	(△ 1,130,000)
研修会等事業費	420,000	1,600,000	△ 1,180,000
調査研究費	300,000	300,000	0
広報活動費	250,000	250,000	0
会員加入促進費	350,000	300,000	50,000
イベント開催費	(5,320,000)	(5,380,000)	(△ 60,000)
ロボットコンテスト開催費	4,700,000	4,900,000	△ 200,000
ビジネスプロデュースコンパ開催費	420,000	280,000	140,000
CG・ゲームコンパ開催費	200,000	200,000	0
事務委託費	(9,000,000)	(9,000,000)	(0)
事務委託費	9,000,000	9,000,000	0
管理費	(70,000)	(0)	(70,000)
租税公課	70,000	0	70,000
雑費	(50,000)	(50,000)	(0)
雑費	50,000	50,000	0
予備費	(50,000)	(43,000)	(7,000)
予備費	50,000	43,000	7,000
当期支出合計(C)	19,188,000	20,710,000	△ 1,522,000
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,248,000	△ 3,000,000	752,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	15,037,291	16,095,864	△ 1,058,573